

株式会社くらこん

排水を利用した緑のカーテンが出現！



浄化した工場の排水ですくすく育つ“緑のカーテン”



農業用遮光ネットで消費電力削減！



電気のムダを省くセンサーライト

昆

布や豆を使った惣菜の生産を行っているくらこんさん。同社には若手社員中心の省エネプロジェクトチームがあり、お金をあまりかけずにできる省エネアイデアを日々企画しているそうです。昨年のフェコニュース秋号での取材時には、農業用遮光ネットを使った消費電力削減策をご紹介しましたが、1年後の現在はさらに多くの省エネ対策を実施中！枚方市が主導する“緑のカーテン活動”では、活動企業に応募して見事当選。市からもらったゴーヤの苗を

事務所の窓際に植え、工場の汚泥や排水を肥料として栽培しているそうです。同社は工場排水の浄水システムがあり、ゴーヤの栽培はその再利用先にぴったリだったとのこと。ちなみに排水はトイレの流し水にも利用中だそうです！ほかに、人が通らない夜間に点灯していた常備灯をセンサーライトにしたり、アドプトロード清掃活動や毎日新聞主催の植樹活動などに参加したりと、くらこんさんのエコ活動はますますパワーアップしています！

温暖化の影響がますます心配。さらなる省エネ努力をつけます！

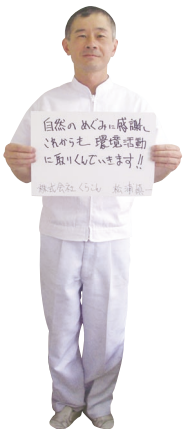
枚方工場生産管理課主任：松浦慎一さん

昭和63年に入社し、平成7年からは生産管理課で資材の管理・調達をしています。今年はゲリラ豪雨で工場が停電することもあり、温暖化がますます心配になりました。昆布がとれなくなるとは会社が立ち行かなくなるので、食品メーカーとしてできる限りの省エネを行い、環境に貢献したいですね。

くらこんさんの取組みや姿勢には、改めて感服しました。「身近なところから少しずつ」という姿勢と地域密着型の活動にどこか温かさを感じ、前向きな気持ちになりました！



仲地英教（なかじ・ひでのり）



株式会社 クレアン

CSRレポートを通じて企業活動を支援！

企業が関係するステークホルダーに向け、環境活動や社会・経済活動を報告するために作るCSRレポート。クレアンさんはその企画・編集やコンサルティングなどを行っています。どんな企業も、社会の声に耳を傾けなければ事業の継続は難しいので、CSRレポートを通じてコミュニケーションを図ることはとても大切なことなのです。CSRコミュニケーション課 主事 原田さんによると「ただ環境活動のデータを示して“これをやりました”というのではなく、誰に読んで理解

してもらいたいのかという視点をもっと大事にしてレポートを作るべきです」とのこと。環境経営が重視される今ではCSRレポートが学生のリクルートツールにもなっていて、その重要性はさらに高まっているようです。同社ではこうしたCSRレポート事業と平行して、環境活動の啓発を目的とするイベントの企画・運営や、環境サイト「エコロジー・シンフォニー」の運営も行っているそう。今後はさらに自治体やNPOとの協働事業なども計画中とのこと、とても楽しみです！



笑顔で取材に応じていただいた原田さん



同社はマイ箸クラブを運営中！



同社が運営している環境サイト「エコロジー シンフォニー」
(http://www.ecology.or.jp/)

スタッフ1人1人がエコ目標を設定。電気代の削減も実現しました！

CSRコミュニケーション課主事：原田京子さん

社内では、スタッフがそれぞれ自己のエコ目標を設定し、実践しています。その結果、仕事や生活を見つめ直すことでスタッフの意識が向上し、わずかですが電気代の削減にもつながりました。個人的にはマイ箸・マイカップ・布ナプキンの徹底を目標に、毎日努力しています！



安東弘之（あんどら・ひろゆき）

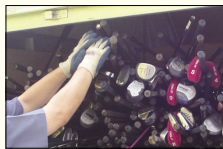
企業は「お客様の声」をいつも必要としていると思います。CSRレポートの制作を通して、お客様との対話やお客様の声を伺うことができるのはすごいチャンスだと思いました。



ここでは、先進的な環境ビジネスを展開されているフクナガのお客さまをご紹介します！



同社が参加している「スマイル・エコ・プログラム」
(<http://www.ebookoff.co.jp/smile/golfpartner.jsp>)



中古ゴルフクラブの回収の様子



まずは関西地区からリサイクルを開始
(外環寝屋川店)

株式会社 ゴルフパートナー

ゴルフクラブを金属資源に再生！

中 古・新品ゴルフクラブの販売、全国230店舗の総合ゴルフショップ運営を事業とする同社とは、ゴルフクラブの再利用についてフクナガにお問合せをくださったことからおつきあいがスタートしました。ゴルフクラブは、ほとんどが金属でできています。しかし今までは、買取価格がつかないクラブはお客様に持って帰ってもらうか、廃棄処分していたんだそう。それに疑問を感じた同社は、金属資源としてリサイクルできるようにされたのです。同社・渡邊さんによると「リサイクルを始

めたことで、どんなクラブでも引き取れることをお客様にアピールできるため、来店促進につながると考えています。またゴミを減らすことで地域社会に貢献できますから、非常によかったです」とのこと。同社ではほかに時間外労働を減らすことで電気代の節約につながるなど、地道な努力をつづけられており、環境に貢献している企業が集まるネットワークにも加入したそうです。エコへの取組みがいろいろなところに相乗効果を生んでいるゴルフパートナーさん。これからもよろしくお願ひします！

株式会社ゴルフパートナー 東京都中央区日本橋本町3丁目7-2 シオノギ本町共同ビル11F
☎ 03-6667-8222 <http://corp.golfpartner.co.jp/>

5回に1回は電車でゴルフへ。排ガスの出るカートも乗りません！

コーポレート本部マーケティング部マーケティング課 課長：渡邊敏也さん

外資パソコンメーカーでの営業担当を経て、今年入社しました。プライベートなどでゴルフに行くときは、5回に1回は電車を使うようにしていますよ。また、ラウンド中はカートに乗らずフェアウェイを歩くように心がけています！

これからエコについてどんなことを考えていたただけそうと感じました。ビジネス以外でのエコの取組みについても、どんな情報交換をしていきたいと思っています。



石川枝里子(いしかわえりこ)

株式会社 スーパー・フェイス

使用済紙おむつが再生燃料に変身！

金 属や紙資源などのリサイクルは今や当たり前ですが、使用済の紙おむつが再生燃料になることはほとんど知られていません。それを実現しているのがスーパー・フェイスさん。同社では使用済紙おむつのリサイクル処理機を開発し、製造・販売を行っています。処理機では1日3000キログラムの紙おむつを処理でき、年間40トンものCO2削減につながるそう！従来は産業廃棄物などしか処理できず、焼却や管理・運搬にかかるコスト、CO2排出量が問題視

されていた使用済紙おむつですが、同社の処理機のおかげで再生燃料として有効活用ができるようになったわけです。よく話題にのぼるレジ袋の年間使用量は60万トンですが、使用済紙おむつも51万トンと同レベル。しかも廃棄時には水などを含むため120万トンまで膨らむそうで、これが再生燃料になればゴミを減らせるだけでなく、資源を持たない日本でも燃料の供給が可能になるため、政府からも注目されているのです！今後の展開がとても楽しみです。

株式会社スーパー・フェイス 東京都港区芝2-29-9 榊原ビル4F ☎ 03-5439-9130
<http://www.superfaiths.com/html/seisei10.html>



使用済おむつを再生燃料にする機械



取材は終始和やかなムード



使用済おむつでできた再生燃料

拡大生産者責任をよく考えて 真に環境にいい経営を目指します。

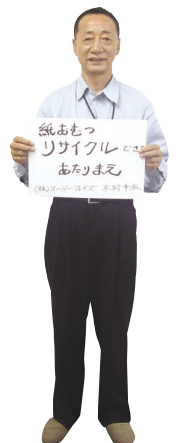
代表取締役社長：木村幸弘さん

今までの企業は製品を売り放して廃棄まで考えていませんでした。最近でこそいろんなリサイクルが一般化してきましたが、本当に環境にいい経営を行っている企業はまだまだ一握りです。私たちも拡大生産者責任をよく考え、行動していきたいと思っています！



野村景(のむらけい)

木村社長と久しぶりにお会いして、信念を持って事業に取り組んでおられる姿はもちろんのこと、将来のご自身の姿や日常のバワフルな活動など、このエネルギーはどこからくるんだ…!?と刺激をたくさんいただきました。



フクナガなんでもNEWS

フクナガ社内のさまざまな話題をお届けします。

今回のなんでもNEWSは、今号のテーマである“お客様スペシャル”にちなんで、いつもフェコニュースの印刷でお世話になっている株式会社ラピトさんをご紹介します！何やら耳ヨリなニュースも！？



現像液不要の環境にやさしいCTP



環境保護印刷

クリオネマーク。ラピトさんは最高基準の「ゴールドプラス」を取得されています。



ラピトの皆さんとフクナガスタッフ

テーマは“環境グラフィックス”！ すべての印刷に安心と信頼をプラス

ラピトさんは、昨年のフェコニュースでも取材させていただいたのですが、同社の環境に対する取組みは、とても勉強になるものばかりです！印刷で使われる薬品や廃液などは環境や人体に悪影響を与えるものが多いそうで、以前から問題になっていたそう。しかし業界では安さとスピードが優先され、環境対策は大手企業でも後回しに…。そこで同社は“自分たちで印刷業界の環境基準をつくらう！”と決意し、ノンVOCインキの採用や、厳しい環境基準をクリアした印刷物に表示されるクリオネマークの取得、間伐材

を有効利用した紙の採用など、次々と環境対策を実施されたそう。同社社長によると「印刷の仕事は環境と密接な関係があるので、仕事の中で環境対策を行うことができますし、何よりスタッフの健康を守ることもつながりました。体に有害な物質は、今では従来の10分の1まで低減できているんですよ」とのこと。明らかにたくさんのメリットが生まれているようです。同社では現在、環境グラフィックスをテーマとし、注文を受けたお客さまに安心と信頼を感じていただけるような印刷会社を目指していらっしやいます。

環境チームリーダーとして努力中。 一緒に取組める仲間を増やしたい！

一村健二さん

元々は製造業勤務でしたが、印刷業界への転職後にラピトと出会い、社長の考え方や会社のあり方に惹かれて入社しました。今は社内の環境チームで、リーダーとしてがんばっています。一緒に環境に取組める仲間を1人でも多く増やしたいですね！

村田昌英
(むらた・まさひで)

有害な廃液を出さないことが社員の健康を守り、環境をよくすることにもつながる…その「次につなげる」という考え方を見習って、自分も仕事に取り組みたいと思いました！



本誌読者限定
5%割引!!

オリジナル絵柄が何と800種類！ 今年の年賀状印刷はラピトさんで！

ラピトさんのインターネット事業部「ネットデュオ.コム」では、2009年の年賀状印刷の受付を実施中。注文はとてもカンタン&便利で、800種類(!)ある絵柄から好きなものを選び、必要な情報を入力するだけ。WEB受付なので注文は24時間可能。しかも翌日発送で、早期割引もあるそうです！(詳しくはホームページを参照) 皆さん、ぜひぜひ利用してみてください！



注文時に下記のフェコニュース限定クーポン番号を入力すると代金が5%割引

G270100

※詳しくはコチラ
ネットデュオ.コム
<http://www.net-duo.com>

次号は
1月上旬
発行予定!

次号では「2008年総集編・スペシャルエコクイズ」
を実施予定! 乞うご期待!!



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014

大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30

TEL.06-6969-3647 (代)

FAX.06-6969-3633

E-mail feconews@ecosoft.co.jp

<http://www.ecosoft.co.jp>

- 本誌では、森林の健全な成長を促すために採伐した、「間伐材」を使った用紙を使用しています。
- 本誌はクリオネマーク ゴールドプラス基準に適合した地球にやさしい印刷方法で作成されています。
- 地球環境保全のため、石油系溶剤を含まないVOC成分ゼロの大豆インキを使用しました。

編集後記

長谷川真紀
(はせがわ・まさ)

今回の取材を終えて、どのお客さまも環境配慮の活動を自然に行っていること、そしてビジネスが省エネやゴミゼロのための創意工夫から発展して生まれていることを感じました。環境ビジネスはお客さまに喜んでもらえて、社内では経費低減などの副次効果もあり、そして何よりも環境に良い! 今後はそんな“三方よし”の企業がどんどん増える予感がします。ぜひ皆さんの会社の省エネアイデアも教えてください。